

- ・日本の建築について

Q.

- ・東京 2020 年に向けて、古い建物を日本様式の新しい建物に再建する政府の政策を提案したい。品川区では、戸越銀座地区、旧東海道品川宿沿いにある古い家や建物を新しい日本様式の建物として再活性化することを支援してはどうか。
- ・旧東海道品川宿に建っている古い家や店舗などを保存する法律が存在するか？新しく建てられる家は、元からのスタイルを尊重したほうがよい。北品川駅前整備により、いつできる予定か。

A. 品川区では平成 30 年度より、区の魅力を区民や観光客に伝える新たな試みとして、古い建築物に限らず、様々な視点で区内にある建築物の価値や特徴を捉えるための調査を行っております。

戸越銀座地区は景観計画の重点地区には含まれませんが、旧東海道品川宿地区においては、景観計画における重点地区として、地区固有の景観資源（古い家や店舗など）や個性を活かし、良好な景観形成を図るための基準を定めています。旧東海道沿道の修景を維持するうえで、建替えや外観の変更をする際に街並みに配慮した計画とする場合は、国と区から工事費の一部を補助する制度を設けるなど支援をしております。

北品川駅前の整備につきましては、令和 9 年度の完成に向け作業を進めているところです。

(都市環境部都市計画課)